

1. 今年度業務の目的と基本的な考え方

1-1. 今年度業務の目的

(1) これまでの取組み背景

「普天間飛行場の跡地利用の促進及び円滑化等に係る取組分野ごとの課題と対応の方針についてのとりまとめ」を受けて、「普天間飛行場関係地権者等意向把握全体計画（平成13年度）」が策定された。その後、「跡地利用計画」、「地権者等意向醸成」に関する取組みが進められている。

①跡地利用計画

跡地利用計画については、「跡地利用基本方針、行動計画の策定」、「キックオフ・レポート（土地利用・環境づくり提案）の作成」、「全体計画の中間取りまとめ（素案）作成」、「全体計画の中間取りまとめの策定」という流れで段階的に具体化が進められている。

平成28年度においては、「全体計画の中間とりまとめ」をもとに一部見直しされた「行程計画」を踏まえ、今後の跡地利用計画に向けた取組みの推進に向けた取組みが行われた。また、「普天間公園（仮称）懇談会」では、平成29年3月に「普天間公園（仮称）への提言書」が取りまとめられた。

平成29年度は、これまでの検討経緯の整理を行うとともに、計画内容の具体化に向けた課題等を抽出し、「普天間公園（仮称）懇談会」の提言や関連計画の検討経過を踏まえた配置方針・配置方針図の更新に向けた検討が行われた。

今後は計画内容の具体化に向けた検討を進め、配置方針図の更新、「跡地利用計画（素案）」の策定を行い、「跡地利用計画」の策定に向けて取組んでいく。

②地権者等意向醸成

合意形成に向けた場づくり・人づくり・組織づくり等の活動を長期的展望のもとに展開し、「普天間飛行場の跡地を考える若手の会（以下、若手の会）」、「ねたてのまちベースミーティング（以下、NBミーティング）」の組織化等が図られている。

両組織の成熟具合等を勘案しながら、今後は将来的な組織の自立化を促すような取組みに向けて進めていく。

また、各種団体や大学生を始めとする若い世代等と地域全体の連携のもと、協働の取組みが展開されている。

(2) 本業務の目的

今後策定が予定されている「跡地利用計画（素案）」に向け、地権者等意向醸成（本業務）においても計画の具体化に対応した合意形成を展開する必要があることから、今年度においても昨年度に引き続き「全体計画の中間とりまとめ」の内容の更なる周知を図る。

また、「跡地利用計画（素案）」策定後の事業化に向けた対応を見据え、昨年度に引き続き地権者の意向集約に向けた体制づくり、市民に関しては跡地利用への関心向上に向けた体制づくりを進めていく。

1-2. 今年度業務の基本的な考え方

前頁の目的を踏まえ、今年度業務の取組み方針と基本的な考え方は、以下の通りとした。

【取組み方針と基本的な考え方】

取組み方針	考え方
跡地利用計画策定に向けた取組みに対し地権者、市民が内容を理解し、意見を発信できるような機運醸成を目指す	2022年度の跡地利用計画策定に向け、「全体計画の中間取りまとめ」における「配置方針・配置方針図」更新に向けた検討が進められているため、計画の進捗に合わせて地権者・市民の意見が求められる。 その際、地権者・市民が跡地利用計画に対して的確な意見を述べるためには十分な情報提供と理解が必要となることから、市民の跡地利用に対する意識・関心の向上に取り組む。
跡地のまちづくり段階を見据え、若手の会を中心とした地権者組織の再編に向けた取組みを進めていく	普天間飛行場返還後においては、跡地利用計画の内容に従って、まちづくりが進められる。このとき、まちづくりの推進をけん引する地権者組織が存在しないと、実際のまちづくりに係る各種事業の合意を得づらい等、事業の進捗に支障を及ぼす事が考えられる。 そのため、これまでの継続的な活動により力を付けた若手の会を中心に、今後のまちづくり組織のあり方検討や意見調整を行うなど、将来に向けた取組みを進めていく。
地権者・市民が一体となったまちづくりの機運醸成や組織化への取組みを実施する	跡地利用計画の策定期間が迫り、周辺市街地整備の具体化も求められてくる中、今後はより一層、地権者・市民の関わりが不可欠となり、そのための機運醸成や議論の場が必要となる。 これまでも地権者・市民に対し、様々な情報発信、意向把握、意向集約の取組みを実施してきたが、今後は多岐に渡る個別の取組みを関連させて実施し、跡地利用への気運を高めていくとともに、地権者・市民誰もが宜野湾市のまちづくりを学べ、考え、発言でき、共通の目標に向かっていく取組みを進めていく。

これらを踏まえ、今年度業務では、地権者に対し引き続き若手の会を中心とした組織強化と跡地利用に関する検討の深度化を図り、今後の事業化を見据えた取組みを進めた。

また、市民に対し、跡地利用への関心向上に向けた継続的な情報発信や各種取組みを行う事とあわせ、市民側の跡地利用を検討する組織であるNBミーティングの活動の活性化を図る。

更に、地権者、市民誰もが普天間飛行場返還後のまちづくりを学べ、考える事のできる場として、地権者・市民を対象とした「まちづくり講座」を新たに開催した。

上記取組みに関する評価・検証の場として、「普天間飛行場跡地まちづくり合意形成懇話会(以下、懇話会)」を継続して実施した。